

第9回 豊岡市竹野地域小中一貫校開設準備委員会 会議録（要旨）

I 日 時 2025年3月18日（火）19時30分～20時00分

II 場 所 豊岡市役所 竹野庁舎 1階 大会議室

III 出席者 ≪委員≫ 18名（委員名簿順）

田中博文委員長、加藤未来副委員長、古保治郎委員、田村高志委員、富森孝委員、仲治寿幸委員、大井真由美委員、上野真希委員、宮崎裕紀委員、太田垣輝尚委員、辻正孝委員、山本英里子委員、長谷川博子委員、福田達也委員、高田健一郎委員、宇川博久委員、小林昌弘委員、増田克志委員

（欠席） 間智子委員、上田彩乃委員

米田達也豊岡市議会議員（オブザーバー）

≪事務局≫ 6名

嶋公治教育長、

（教育総務課）木之瀬晋弥課長、野崎律男参事、加藤哲夫参事、

川瀬貴之主幹、今井雄一主査

IV 傍聴者 なし

V 内 容

1 開 会

2 挨 拶

委員長から挨拶

3 議 事

(1) ~~(2)~~工事の進捗状況について（報告）

重要な報告案件であるため、次第 (1)閉校式・開校式について の前に報告する。

① 竹野学園低学年棟増築工事の遅れについて説明（事前に文書でお知らせした内容の詳細）

- ・当初予定していた低学年棟の完成が8月中から10月末になることが分かった
- ・完成を楽しみにされていた、子どもたち、保護者、地域の皆様にはこのようなことになり、大変申し訳ない。
- ・変更後の低学年棟校舎の利用開始（引っ越し）は、今後、子どもたちへの影響等を踏まえ、学校と相談しながら決めていきたい。
- ・検討がある程度進んだ段階で、保護者説明会でお知らせしたい。

② その他工事の進捗状況について

- ・体育館入口の手前部分に整備する放課後児童クラブについては、3月中旬でほぼ完成している。
- ・1階の教室部分については、使用していた3年生が卒業し、使わなくなったタイミングにあわせて、特別支援教室等に改装する工事を始めている。春休み中には作業を終える予定。

- ・低学年棟の増築工事については、基礎のコンクリート工事を4月下旬には終える予定としている。その後、躯体の工事、内外装の工事に取り掛かる。
- ・外壁の修繕・塗装工事等は、体育館棟から順次進めている。
- ・遊具については、明日（3/19）に入札を予定している。授業で使用する遊具を優先的に選定しており、また、新たに整備するゴムチップ製の低学年用グラウンドには、資料にあるような複合遊具を設置する予定としている。

(2) ~~(1)~~閉校式・開校式について（報告）

閉校式、開校式の内容、来賓の出席者数、その他一般参加の座席数等について説明

(3) 報告書（案）の確認について（協議）

- ・事前に送付した報告書（案）について確認
- ・低学年棟の利用開始時期が変更となったことにより、記述を修正

⇒ 意見等なし

報告書（案）の案を削り、会議終了後に委員長から教育長に提出してもらう

(4) その他

なし

4 その他

(1) 次回予定

- ・今回の開設準備委員会で、一連の協議は終了となるが、今後、協議が必要となった場合には、急遽、会議を行う場合もあるためご了承願いたい。

5 閉 会

VI 主な発言内容等（要旨）

(1) ~~(2)~~工事の進捗状況について（報告）

《A委員》

今後、更に工事がずれ込むことはあるのか。

《事務局》

遅れについての報告が今の時期になった理由にも関連してくるが、工期の不確定要素である基礎工事の終了見込がたったのが、今の時期になったためである。

基礎工事が4月に終わる見通しとなったことにより、以降については概ね計画通り進む、不安定な要素は無いものと考えている。

《A委員》

当初、9月から利用開始としていたのは、引っ越し等、教員の負担についても理由になっていたかと思う。冬休みに引っ越しということも考えられるが、無理に雪のふる3学期からにしくなくても、来年の4月からでも良いのではないか。

《事務局》

引越しがいつできるのか、完成後、子どもたちをいつまで待たせるのか、その間、行事はどうするのか等、学校と相談をしながら検討していきたい。2学期の途中から、冬休み明けの3学期から、今言われたような来年度からという考えもあるかもしれない。どのようにするのが、子どもたちのために良いのか、教員の負担はどうか等を検討したうえで、ある程度想定ができた段階で、改めて説明の機会を設けたい。

(2) (1)閉校式・開校式について（報告）

意見無し

(3) 報告書（案）の確認について（協議）

意見無し

Ⅶ 報告書の提出

《教育長 お礼の挨拶》

思い出してみると、2023年2月24日に第1回目の準備委員会を開催し、その後、鳥取市の江山学園に視察に行き、お互いにイメージを共有するところから始めた。

その前の会議だったかと思うが、小中一貫校はぜひとも、今までにない素晴らしい学校にしたいので、皆さんと一緒に考えていきたいといった話をさせていただいた。

それに向け、これまでに9回の準備委員会で一生懸命協議をしていただいた。

その中でも、最も特徴的なのが、2回に渡ってワークショップを行ったことである。

これまで、学校では、学校や教育委員会が「こんな学校をめざしたい」と考えてきていたが、今回は皆さんに、どんな子どもに育ってほしいのか、どんな教育内容を目指すのかということを出し合ってもらい、それを擦り合わせて学校づくりをしていた。これは、今まで、他の学校ではやってこなかったことなので、これからも続けていきたいと考えている。

先程、引越しの時期についての意見があったが、心配なのは当然である。

子どもたちの安全安心を第一にしながら、学校の先生が今までやってきてくれた教育課程の検討、皆さんとの検討を無駄にしないようにするにはどうすればいいのか、案を併記しながら、皆さんにお示しをし、意見をいただき、その中で一番いい方法を選んでいきたい。教育委員会が判断するのではなく、皆さんと一緒に考えていきたい。

これからも、ピンチがあったときには、皆さんに相談し、その中ですり合わせて一番いい方法をとることが一番素敵な学校をつくることになると思うし、子どもにとって、最高の学校になるのではないかと思います。

これからも皆さんの意見をいただきながら、初心を忘れないように我々も頑張っていきたいと思いますし、皆さんにも引き続き、ご協力いただきますようお願いしたい。ありがとうございました。

（以上）